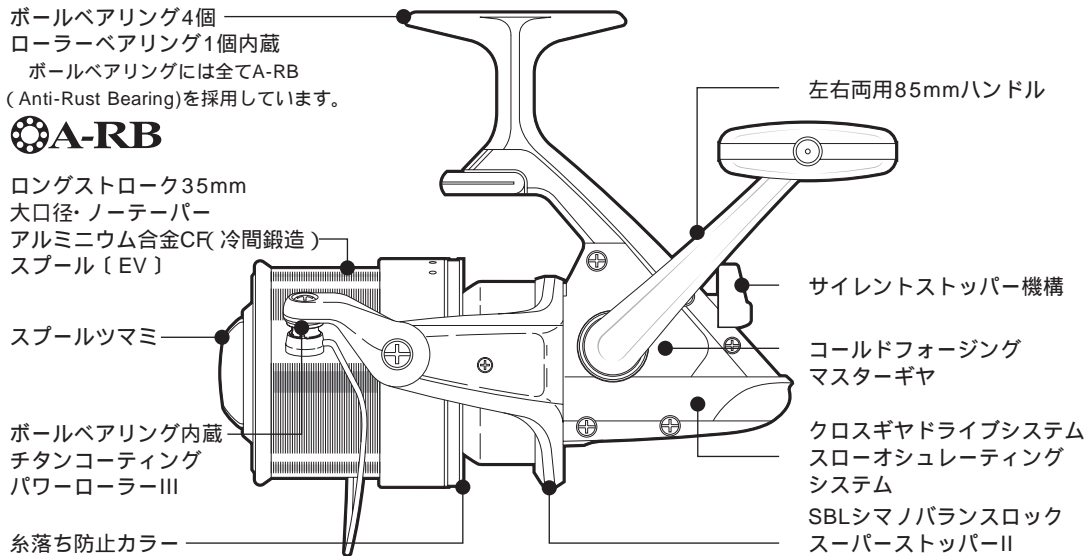


各部の名称と仕様

機種名	商品コード・製品コード
スーパーエアロEV	細糸仕様 01863・SA257000 標準仕様 01864・SA257100
スーパーエアロFV	細糸仕様 01861・SA256000 標準仕様 01862・SA256100

自重(本体装着スプールの状態)	ギヤ比	ボールベアリング	本体装着スプール
スーパーエアロEV 585g	3.8:1	4	細糸仕様 1.5号 標準仕様 3号
スーパーエアロFV 595g	許容耐力 196.0N 20.0kg	ローラーベアリング 1	替スプール 細糸仕様 3号 標準仕様 5号



スプール仕様

	1.5号タイプ	3号タイプ	5号タイプ
テーパー	ストレート	ストレート	ストレート
スプールエッジライン放出角	31°	31°	45°
前ツバ径	68mm	68mm	68mm
ストローク	35mm	35mm	35mm
糸巻量(号-m)ナイロン糸	1.2-250	2-300	4-250
	1.5-200	3-200	5-200
	2-150	4-150	6-170
糸巻量(号-m)新素材糸	0.8-250	1.5-250	3-225
	1-200	2-200	4-175
	1.2-160	3-130	5-140

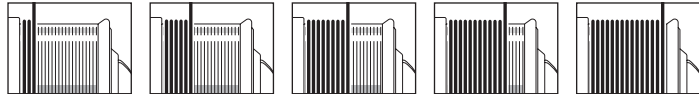
*ナイロンライン5号までと、PEラインの3号までは+テーパー糸の糸巻量です。
*《使用糸》ナイロンラインの場合...最大部14号、長さ15mまで
PEラインの場合...最大部7.5号、長さ15mまで
*PEラインにナイロン糸を、ナイロンラインにPE糸を使う場合、もしくは特別太い糸や長い糸を使う場合は糸巻量を調整してください。
*ナイロンライン6号以上と、PEラインの4号以上は糸なしの糸巻量です。
標準付属品 取扱説明書・分解図・布袋・スプールプロテクター(2枚)・替スプール・調整ワッシャー

数々の機能・装備

スローオシュレート(密巻機構)

密に巻かれたラインは、スプール前後のターン数が極めて少ないため、乱れず美しく放出されます。放出音の静けさがエネルギーロスの小さい証です。また、密巻することによって糸の巻き上げ厚が薄くなり、表面~ボトムにいたるまでのスプールエッジの抵抗が極めて少なくなります。

スローオシュレート機構によりスプールにラインが密に巻かれます。



大口径・ノーテーパーアルミニウム合金CF(冷間鍛造)スプール〔EV〕

コールドフォーミング(冷間鍛造)したアルミニウム合金をマシンカットで徹底的に無駄な贅肉を排除することにより、軽量で強度のあるスプールに仕上げました。

コールドフォーミングマスターギヤ

コールドフォーミング(冷間鍛造)で鍛造された高精度なマスターギヤ。マシンカット以上に優れた耐久性と剛性を発揮し、SHIPによる理想的な歯形状を素材的にもバックアップします。

A-RB (Anti-Rust Bearing)

ボールベアリング全てに、シマノ独自の驚異的な耐蝕性を持つA-RB (Anti-Rust Bearing)を採用。海水の影響を受けても錆を寄せつけません。

スーパーストッパーII

これまでのスーパーストッパーをさらにグレードアップしたローラーベアリング内蔵のストッパーで、瞬時のアワセや糸フケとそれともなうガイドがらみを防止します。

85mmハンドル

クロスギヤドライブシステム

サイレントストッパー機構

35mmロングストローク

ボールベアリング内蔵

チタンコーティング

パワーローラーIII

ボールベアリング内蔵4個

ローラーベアリング内蔵1個

糸落ち防止カラー

パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻き取る時に生じます。

そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻き取る時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラーIII」を採用。

ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2



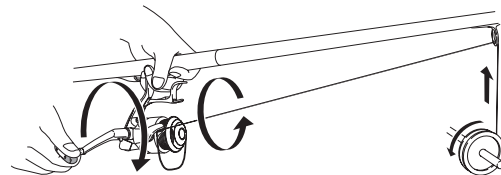
1 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨれている時。
ドラッグが作動した時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻き取る時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

2 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。

1. 図のようにリールを竿に取り付けます。
2. 第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
3. 糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
4. それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

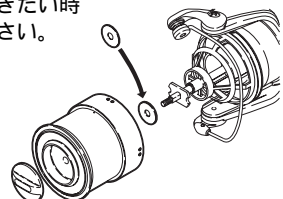
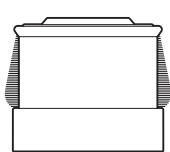


操作方法

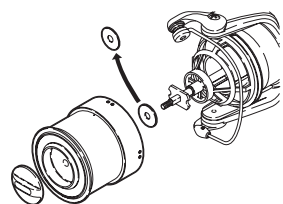
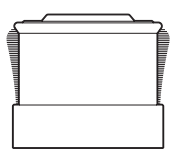
糸巻き形状の調整方法

工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャーを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。

現在よりも後ろよりに糸を巻きたい時
付属のワッシャーを追加してください。



現在よりも前よりに糸を巻きたい時
スプール軸上にあるワッシャーを減らしてください。

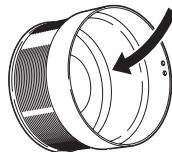


キャスト時の注意

キャストを行う際は、ベールアームを本体の当たり近くで返してください。ローターが回転して、ベールアームが不用意にもどるトラブルを防ぐことができます。

スプール使用上のご注意

万一、製品を砂の上に落とした場合は必ずスプールの内側の砂をふき取ってください。
スプールをはずして、スプール軸を確認。砂がついている場合は、砂を取り除くか、回転軸の一部を分解してスプール軸を取り出し、ブラシなどで掃除してください。



スプールの内側についた砂は故障の原因になりますので必ずふき取ってください。

ラインの巻きはじめ

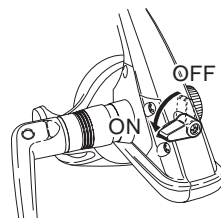
このスプールは巻きはじめのずれが生じにくく、きれいにラインを巻くことができます。

1. スプール糸巻き側のライン取り付けホールから、糸の先端を内側に出します。
2. EV...ライン先端を4つ折りにし、結びこぶを作ります。他のための糸を添えて結びこぶを作ってもOKです。余った糸はカットしておきます。
FV...スプールの内側の突起にラインの先端を結びつけてください。
3. ラインを軽く引っ張ってみてラインが抜けないのを確認します。



ストッパーツマミの操作

リール後ろから見てツマミが左に倒れている時(ON)、逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取り時に使用します。
同様に、ツマミがまっすぐな時(OFF)、逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



糸止め

細い道糸が引っかかるトラブル防止のため、糸止めの構造が通常のリールと異なっています。ラインの先端をラインホール(EV)またはラインホルダー(FV)に通し、適宜巻きつけて止めて下さい。

